

平成 20 年 12 月 1 日

各 位

本店所在地 東京都港区東新橋二丁目 4 番 1 号  
 会社名 株式会社 T & C ホールディングス  
 代表者名 代表取締役 田中茂樹  
 (コード番号 3832)  
 問合せ先 社長室長 笠屋雅義  
 (TEL. 03-5425-7013)

## 投資有価証券評価損および大口案件の売上計上繰越等に関するお知らせ

投資有価証券評価損の発生および大口案件の売上計上繰越等について、下記の通りお知らせ致します。

### 記

#### 1. 投資有価証券評価損について

保有有価証券のうち、時価が著しく下落した銘柄について、平成 20 年 11 月期において投資有価証券評価損を計上いたします。

当社は、保有する業務提携先 Finet Group Ltd. の株価下落を受け中間期に 316 百万円の投資有価証券評価損を計上しておりますが、以後の世界的な金融不安の拡大を受け同株式の株価は更に下落しました。そのため当社では、約 105 百万円の評価損を追加で計上いたします。通期の投資有価証券評価損の総額は以下の通りです。

##### (1) 連結

(A) 平成 20 年 11 月期末の投資有価証券評価損の総額	421 百万円
(B) 平成 19 年 11 月期の純資産額 (A/B×100)	1,574 百万円 (26.7%)
(C) 最近 4 連結会計年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	124 百万円 (339.5%)
(D) 最近 4 連結会計年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	77 百万円 (546.8%)

##### (2) 個別

(A) 平成 20 年 11 月期末の投資有価証券評価損の総額	421 百万円
(B) 平成 19 年 11 月期の純資産額 (A/B×100)	965 百万円 (43.6%)
(C) 最近 5 事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	32 百万円 (1315.6%)
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	30 百万円 (1403.3%)

注) 1. 当社の決算期末は 11 月 30 日であります。

2. 連結における平均額については、当社が平成 16 年 11 月期より連結財務諸表を作成しておりますので、最近 4 連結会計年度の平均額を使用しております。

3. 個別における平均額については、平成 15 年 11 月期及び平成 16 年 11 月期の経常利益・当期純利益を 0 として算出しております。

(3) 投資有価証券評価損計上の理由

投資有価証券評価損 421 百万円は、香港株式市場の投資情報及びリアルタイム株価提供につき業務提携している Finet Group Ltd. 株式の評価損であります。同社は、香港 GEM 市場に上場しており、平成 20 年 11 月期末において、中国株式市場の低迷を背景に株価が著しく下落したため、中間期に続き約 105 百万円の投資有価証券評価損の計上を行うものであります。

2. 大口案件の売上計上繰越等について

当社グループでは、金融アドバイザー事業において 11 月末までに映画やファンドの大口案件の売上計上を見込んでおりました。しかし、世界的な金融危機に見舞われたことから、金融市場の落ち着きを待って契約を締結したいとの買い手側の意向により、映画の契約およびファンドの償還が翌期にずれ込み、当初計画通りに映画の売上およびファンドの償還に伴う成功報酬の売上を実現することは出来ませんでした。このため、売上が平成 20 年 1 月 11 日に公表した当初計画と比較して約 7 億円減少し、当期純損益は前述の投資有価証券評価損 421 百万円の計上を含め約 500 百万円の損失を見込んでおります。

3. 今後の見通し

平成 20 年 11 月期（連結・個別）の業績予想につきましては現在集計中であり、確定し次第速やかに開示いたします。

※ 今回の業績見込みは、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上